

要 望 書

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会

令和6年7月1日

要 望 書

本協議会の活動につきましては、平素から格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

成田線沿線地域は、首都東京から至近な距離にあることから、東京への通勤・通学圏として発展してきた地域であり、成田線の輸送力強化及び利便性向上が沿線自治体のまちづくりの最重要課題となっています。

こうしたことから、成田市、柏市、我孫子市、印西市、栄町、利根町を構成員とする本協議会では、成田線の輸送力強化と利便性向上を促進するとともに、沿線内外の利用促進を図り、成田線の活性化を推進することを目的として活動しています。

成田線の利用促進、沿線活性化を推進するには、沿線の定住者を増やすことや交流人口を増やすための取組みを行う必要があります。さらには、鉄道の輸送力強化及び利便性の向上も必要不可欠と考え、双方が課題を解消しながら、共存共栄できるように活動を進めていきたいと考えています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式の定着により鉄道利用者が減少し、新型コロナウイルス感染症が収束しても、以前の利用者数に戻ることは厳しい状況であると認識しています。

令和6年3月のダイヤ改正においては、利用状況に合わせた輸送体系の見直しが行われ、他路線で本数が削減される中、成田線の運行本数は減便されることはありませんでした。

成田線の利便性向上に特段の御配慮をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

ただ、成田線の増発は沿線自治体の悲願であり、今後、成田線の更なる利便性の向上が次期ダイヤ改正において期待されているところです。この機会に、次の項目については是非とも実現いただくよう要望いたします。

1. 成田線の増発・接続改善について

新しい生活様式の定着により、乗降客数が減少している中、継続して列車の運行を続けることは、大変厳しい状況であると認識しています。

成田線の利用者を増やしていくためには、沿線の利便性の向上や活性化が重要であることから、沿線自治体とJR東日本が連携し、沿線の魅力の発信や活性化に協力していく必要があると考えています。

利用者の増加につなげるためにも、通勤・通学時間帯での我孫子駅～成田駅間を走る列車の増発と、我孫子駅及び成田駅での乗り継ぎ時間の短縮等、接続改善を含めた利便性の向上について、次期ダイヤ改正での実現を要望いたします。

2. 成田空港へのアクセス向上について

(1) 成田空港への快速列車の運行

新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた空港需要は、感染症法上の位置づけが2類相当から5類に変更されたことなどに伴いより、復調の兆しが見えております。

また、成田空港の更なる機能強化の進展により、空港利用者は大幅に増加していくことが見込まれます。

このようなことから、今まで以上に成田空港への鉄道アクセスの強化を図る必要があるため、北関東地域からの空港アクセスとして、武蔵野線や常磐線から成田線を経由して成田空港に向かう快速直通列車の運行を実現していただくとともに、成田空港で働く方々が成田線沿線に移住しやすくするためにも、成田線について、成田空港への直通運行ができるよう要望いたします。

(2) 成田新高速鉄道（成田スカイアクセス線）との交差点部への新駅の設置

成田新高速鉄道（成田スカイアクセス線）では、成田線の交差点部に新駅「成田湯川駅」が設置されました。この場所にJR東日本の駅が設置されれば乗換えが可能となり、成田線から空港への乗り継ぎ改善が図られ、成田線を利用する空港利用者の増加が考えられます。

また、列車のすれ違い施設にもなり、1時間当たりの運行本数も増やすことが可能と考えられます。

つきましては、こうした構造となる新駅の設置を要望いたします。

3. 千葉方面へのアクセス向上について

成田線の各駅から成田駅経由で千葉方面へ通勤・通学する方の利便性向上のため、千葉方面への直通運行を要望いたします。

4. 成田線各駅の施設整備について

◇ 各駅共通要望事項

- ・ 駅前広場を利用した地域の魅力向上への支援を要望いたします。
- ・ 非常時に対応するため、監視カメラ等の整備を要望いたします。
- ・ A E Dについては、未設置の駅への設置を要望いたします。
- ・ 窓口閉鎖に伴い、利用者の利便性を維持するために、構成市町主要駅に対して、指定席券売機の導入を要望いたします。
- ・ 駅の無人化により、利用者の利便性や安心・安全が損なわれないよう、迅速かつきめ細やかな対応が可能なコールシステムや体制の整備を要望いたします。

◇ 東我孫子駅

- ・ 駅構内に向かう経路（踏切）で段差の解消や手すりの設置などの転落防止策を行い、利便性と安全性の向上について要望いたします。
- ・ ホームの上屋の設置を要望いたします。

◇ 安食駅

- ・ 駅舎等塗り替え、線路内環境の整備を要望いたします。
- ・ 下り線ホームへの上屋の設置を要望いたします。
- ・ 上下線ホームに非常停止ボタンの設置を要望いたします。

5. 地震や大雪、台風等の自然災害発生時における対策について

(1) 情報提供の円滑化

列車運行の異常を知らせる情報ディスプレイを含め、迅速かつ正確な情報提供をするための広報体制を早急に整備いただくよう要望いたします。

(2) 輸送障害等に関する対策の推進

自然災害時にも対応できる軌道敷等の基盤整備の更なる推進について要望いたします。

6. B. B. B A S Eの定期運行について

令和3年から毎年運行していただいているB. B. B A S E手賀沼は、乗車いただいた多くのお客様から反響があり、継続運行を期待する声が多いことから、定期運行化を要望いたします。

また、御社と本協議会で連携を図り、利用者へのおもてなしや沿線の魅力発信、成田線の利用促進に向けて取り組むことも併せて要望いたします。

7. 成田線（我孫子～成田間）開業125周年記念事業の実施について

成田線（我孫子～成田間）開業120周年に際しては、御社の多大なる御協力のもと、大盛況で記念事業を終えることができ感謝申し上げます。

令和8年には開業125周年を迎えることから、本協議会においても新たな記念事業の検討を進めていきたいと考えておりますので、御社においても、記念事業の実施に向けた検討を要望いたします。

8. 東山手ルート及び羽田空港アクセス線新設に伴う成田線からの直通便の運行について

当事業においては、常磐線からの直通運転が見込まれることから、成田線（我孫子～成田間）からの直通運転も検討していただくよう要望いたします。

令和6年7月1日

東日本旅客鉄道株式会社
執行役員
千葉支社長 土 澤 壇 様

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会
会 長 我孫子市長 星 野 順一郎

成田線(我孫子～成田間)活性化推進協議会名簿

会 長	我孫子市長	星 野 順一郎
副会長	印西市長	板 倉 正 直
〃	栄町長	橋 本 浩
監 事	成田市長	小 泉 一 成
〃	利根町長	佐々木 喜 章
委 員	成田市議会議長	神 崎 勝
〃	柏市長	太 田 和 美
〃	柏市議会議長	円 谷 憲 人
〃	我孫子市議会議長	早 川 真
〃	印西市議会議長	海老原 作 一
〃	栄町議会議長	大 野 博
〃	利根町議会議長	大 越 勇 一